

## 平成30年度 関金インターケアハウス 事業計画

事業所名	関金インターケアハウス		
施設長	西村 充也		
実施事業	軽費老人ホーム		
開設年月日	平成17年4月1日		
所在地	鳥取県倉吉市関金町関金宿1429-14		
正規職員数	3名		
臨時職員数	5名		
パート職員数	1名		
定員	30名	目標利用者数 30名/月	入居率 100%
職員配置	施設長 1名・生活相談員 1名・介護職員 2名 調理員 3名・宿直員 2名 計9名		

### 1 基本方針

ご利用者様が、プライバシーが尊重された環境のもと、健康で心豊かに、自主的な生活を送ることが出来るよう支援します。

高齢者向きの施設、食事、入浴施設などの基本サービスや、外出支援、楽しみの中の提供及び、日常の自主的な活動のための諸サービスを提供します。関係施設、事業所との連携を図ることにより、ゆとりのある自立生活を維持いただけるように支援します。

### 2 運営

- (1) ご利用者様のプライバシーを配慮した、安心して生活できる施設の環境整備を図ります。
- (2) 地域行事への参加、買物、日帰りツアー・公共施設の利用等、～外出の機会を設けて、生き生きと楽しい交流作りを行います。
- (3) 特徴を活かした施設づくりを進めます。  
当施設は、「日本名湯百選」に選ばれた関金温泉に立地しており、入浴は、天然ラドン温泉でラジウムが発生する微量放射線効果で、身体の免疫力や自然治癒力を高め疲労回復、神経痛等に良いとされている源泉を使用しています。
- (4) 地域包括支援センターとの緊密な連携を推進します。
- (5) 「生き生きと楽しく」「思いやり」「礼節」「向上」「健康」「感謝」「笑顔」を毎日、大切にしていきます。
- (6) 美化を毎日心がけ、毎月“美化の日”を設定し、施設内外の綺麗な環境作りをします。
- (7) “思いやり”と“感謝（おかげさま）の心”をもって、計画的な事業運営を行います。

### 3 主な実施事業

- (1) 施設整備事業

屋上水漏工事

276千円

## (2) 事業活動

### ①クラブ活動

心身機能低下を防止する為に、毎月：運動・歌体操・アグリ・コスモス・図画・工作・音楽・茶道・脳トレゲーム・料理等、各クラブ活動を行い、自主性と自立性及び身体の活性化を図り、健康的な生活を送っていただきます。

### ②スポーツ活動

ボーリング大会・スカットゴルフ大会・グランドゴルフ大会・を行い、体力、筋力の維持および向上を図ります。

### ③交流会

夕涼み会・敬老会・保育園・ICGH合同グランドゴルフ大会・座談会・茶話会・外出ツアー（春；花見 秋；紅葉狩り）足湯サークル等、仲間と共に心身の健康を維持し交流作り・仲間作り・思い出作りを行います。

### ④教養娯楽

やすらぎの間に、ご利用者様が自ら集まって来られる、楽しみサロンの場を作り、ご利用者様同士の交流をはかります。

### ⑤関金ライングル祭

関金みのりグループホーム・関金ラジュームデイサービスセンターと合同して、関金3施設関金ライングル祭を開催し、ご家族様や地域との交流を図ります。

### ⑥交流の花道（コスモスプロジェクト）

施設周辺の道路を地域の方々と協力してコスモスの種を播きコスモスロードとしてケアハウス・グループホーム両施設間で花を育てながら、地域との繋がりを図ります。

## 4 安全・衛生管理

(1) 防災設備の定期点検を励行し、消火・避難訓練等を実施し有事に際して万全を期します。

(2) 衛生管理と感染症対策に年4回（1月・4月・7月・11月）感染症委員会を開催して日常のケアにおいて感染予防対策やその対応方針を施設指針に沿って検討して、衛生的予防ケアの励行と職員研修を通じた知識の習得・啓発を行いまた施設内外の清潔美化を保ち衛生管理の体制を強化します。

(3) 安心して施設で生活できるようヒヤリハット事例を検証し、改善による方策を定め事故発生防止に努めます。年4回（1月・4月・7月・11月）定期委員会を開催する。また、毎月事故防止対策委員会を開催し、再発防止の対策を検討して職員研修を実施して施設内の安全管理体制を強化します。

## 5 防火・防災・救助体制

(1) 消防設備の点検を励行し、消火訓練・避難訓練（年2回）を実施して防災意識の徹底と防災に取り組み、利用者の安心安全を確保します。

(2) 当施設は、土砂災害計画区域にあることから、危険地区にあり防災対応マニュアルに沿って緊急時に迅速な対応が出来るように、避難訓練を行います。

(3) 近隣の自治公民館との連携による緊急時避難体制を確立します。

## 6 職員の資質の向上と研修

### (1) 外部研修の積極的参加

外部研修・発表会へ参加して相談ケアや介助ケアの資質能力向上を図り、更に伝達研修を内部に行い職員勉強会へ繋げ知識・技術を普及して資質能力を向上するとともに、“協働と連携”（チームワーク及び感謝心と謝罪心の心掛け）を高めます。

### (2) 法人内部研修への参加

内部研修へは率先して参加し、施設の業務に活かします。

### (3) 施設内のOJT・職場研修の実施

①新入職員については、部門の担当職員により率先育成指導を行います。

②福祉事業所より講師を招いて研修を行い、施設職員としての“知識と技術と創造力”の向上を図ります。

③自己研鑽を常に怠らず、明日の成長性を感じられる職員の育成をめざします。

④業務のなかで、創意工夫し、また斬新なアイデア（行事・活動）と日頃から“気づき”“思いやり”を考え習慣化する必要を図ります。

### (4) 職員の資格取得の促進

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップを促します。

## 7 各種団体との連携と地域交流

### (1) 広報紙の発行・配布

発行回数：「関金インターケアハウス通信」春・夏・秋・冬号、年4回

### (2) 地域交流行事

4月：関金つつじ温泉祭り

4月：創立記念祝賀会

5月：コスモスプロジェクト

7月：関金3施設地域交流ライングル祭り

8月：関金納涼祭

9月：敬老祝賀会

10月：関金御幸行列祭り

11月：関金町民作品展

3月：せきがね 芸能祭り

## 8 年間行事等

別紙のとおり